



## オンライン授業・・・でも、子供たちは主体的です！

感染症の拡大から、学習する機会を損なわないために一気に広がったオンライン授業。行方市では、**先生と児童が互いの顔を見つつリアルタイムで授業を行う同時双方向型**を基本として、低学年児童へは補助プリントなどを併用して授業を進めています。



感染リスクを減らすといったメリットがあるとはいえ、多くの保護者の皆様にとって自分が経験したことがないオンライン授業は「うちの子は本当に集中して受けられるだろうか？」「授業内容はわかっているのだろうか？」といった疑問があるかもしれません。そこで、**オンライン授業のメリット・デメリット**について説明させていただきます。

### 【メリット1】「時間の節約」

自宅と学校をオンラインでつなぐだけで、効率的に授業時間を確保できることです。学校教育の場合は、これは大きなメリットとは言えないかもしれませんが、

### 【メリット2】「安全・安心を確保」

移動がないので、交通事故やケガのリスクがありません。感染予防にもつながります。

### 【メリット3】「学習するチャンスを掴む」

本校では、児童まの学習機会を失わないために、様々な工夫や努力をしています。普通の授業より児童一人一人が担当の先生とつながり、課題に取り組み、解答を提出したり、質問したりすることで、児童一人一人が学習する機会が得られ、主体的に授業に参加することができています。一対一での学習形態なので授業が分かって「面白い！」「わかりやすい！」と感じることも多いです。

### 【デメリット1】「通信環境に左右されやすい」

Wi-Fi環境によって不具合や児童の操作がうまくいかないことが生じることはあります。本校は今のところ大きな問題はありません。

### 【デメリット2】「集中できていないか？」

こういった心配がある場合は、物理的に誘惑から離したり、人目がある環境で授業を受けたりすることを提案してみてください。

- 集中力を乱すテレビやスマホは保護者さまが一時的に預かる。
- リビングなど人目があるところで授業を受けてもらう。

気になる物を触れない場所に置いておくと衝動が収まり、見られていると緊張感をもって授業を受けることができます。オンライン授業を視聴する時間や場所、視聴のしかたのルールをお子さまと約束するとより効果的なオンライン授業になると思います。

## 「校長室の片付け」・・・発見！「北浦小第1回入学式」の広報誌

平成28年4月6日本校第1回入学式が行われた時の写真が、右のように市広報誌の表紙を飾りました。当日は、入学式に先立ち開校式が行われました。鈴木市長様から初代校長の川尻政利校長先生へ校旗が手渡されました。

あれから6年、立派に成長した6年生が卒業するまで登校できるのも、あと18日間となりました。



北浦小学校が開校  
北浦地区の3つの小学校が統合

